

これからの取組みを検討する仕組み



副園長クラス



中堅職員クラス



初任者クラス

今後は、より現場の保育士の「思い」や「考え」を取組みに反映させるため、保育士自らが取組みを提案できる仕組みづくりを目指します。

市内の各園から数名ずつの保育士が集まって、経験年数や職域が同じくらいのメンバーでグループをつくり、保育現場の課題や困りごとについて話し合います。

保育士オフサイトミーティング

保育士間の
交流



相談

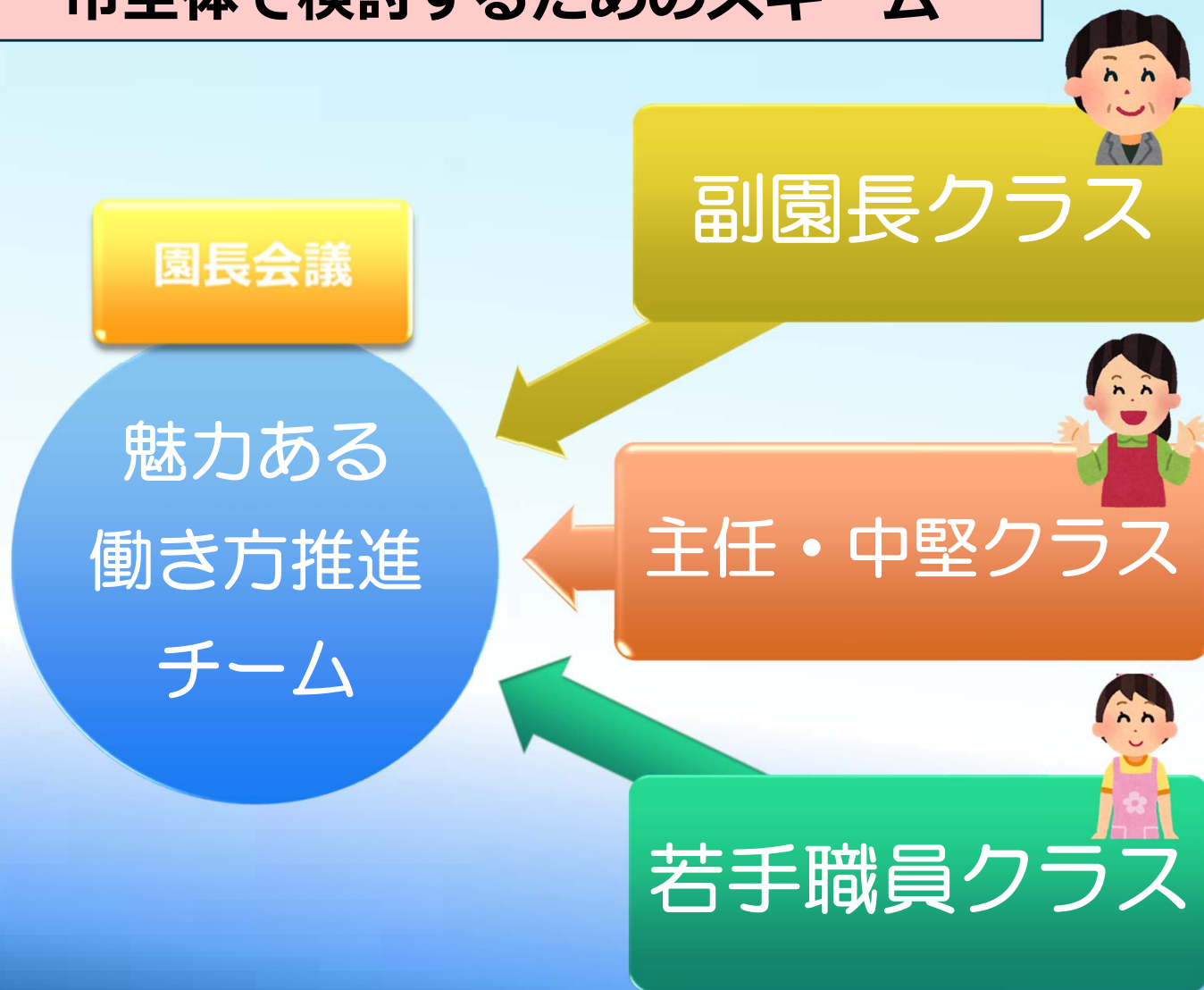


情報交換



保育現場の課題を解決するための
取組みを提案

市全体で検討するためのスキーム



各グループは、同世代の保育士間の交流や意見交換を通じて、現場の課題を解決するための取組みや、魅力ある働き方や保育の質の向上につながる取組みについて、検討・提案を行います。

各グループから提案された取組みは、推進チームや園長会議に集約されます。

「現場ファースト」の仕組みづくり



推進チームは、各グループから挙げられた課題や取組みについて検討を行い、市全体での具体的な取組みに繋がったり、集約した情報を各園にフィードバックします。

トップダウンによる課題解決の指示ではなく、保育士自身が現場で感じていること、必要と思うことを、市全体の取組みにつなげていきます。

「保育士交流会」の目的と期待できる効果

保育士が感じている現場の課題や困りごと、保育の質の向上のために必要と考える取組み等を吸い上げて、市全体の取組みに繋げる仕組みを作る。

職位ごとのグループで話し合うことにより、各職位ならではの課題意識や考え方を、全体で把握・共有できる。

保育士自らが、市全体の取組みについての検討・提案を行うことにより、保育士自身の考え方が広がり、スキルアップやモチベーション向上につながる。

保育士同士の交流を通じて、園を超えての情報交換や、保育上の困りごとの相談等を行う機会を行うための繋がりを作れる。

取組みが目指すもの

職位ごとのグループで話し合うことにより、各階層ならではの課題意識や考え方が見えてくる。

各職位の課題や考えを推進チームが集約して、市内保育園全体にフィードバックする。

各園でフィードバックされた情報を共有してもらい、風通しの良い職場づくりや、部門間、階層ごとの連携の向上に繋げていく。

保育の質の向上




白井市では、保育士自らの

「こんな職場にしたい。」

「こんな保育をしていきたい。」

という、「想い」を大事にしたいと考えています。
その「想い」が、子どもたちが笑顔で楽しく過ご
せる保育園を作ることにつながると考えているか
らです。



「子どもが笑顔で過ごせる保育園」
「保育士が『働きたい』と思える保育園」
「保護者が安心して子どもを預けられる保育園」

市内の全ての保育施設が、こんな施設になることを目指して、白井市では今後も公立・私立の垣根を超えた取組みを続けていきます。